

平成 29 年政策評価書

千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
施 策	テロの未然防止と災害対策の推進
施 策 目 標	災害訓練の推進
施策設定の背景	<p>近年、国内では台風や集中豪雨による土砂災害、河川の氾濫等の大きな被害が毎年発生しており、これらの災害はどこでも発生することが危惧されています。また、県内には日本有数の石油コンビナートや成田国際空港を擁しており、自然災害のほか、石油コンビナート事故や航空機事故等、大規模事故災害の発生も懸念されます。</p> <p>県警では、県民を災害から守るため、災害用装備資機材の整備や各種災害訓練を継続的に実施するとともに、災害に関する広報啓発活動を推進し、県民の防災意識の高揚に努めています。</p>
実施項目 1	各種災害訓練の実施
推進結果 1	東日本大震災の反省・教訓を踏まえ、あらゆる状況においても迅速・的確な警察活動を展開できるよう、地域住民参加による実践的な災害警備訓練を実施しました。
実施項目 2	災害に関する広報啓発活動の推進
推進結果 2	県民に対し、警察広報紙を活用した広報や、市民祭りなどのイベント会場における広報啓発活動を推進したほか、警察官による防災講話等を積極的に開催し、災害に対する危機管理意識の醸成に努めました。
実績（成果）	<p>○ 各種災害訓練の実施状況</p> <p>主な警備訓練として、解体予定の旧稲毛連絡所及び稲毛官舎、習志野市実籾県営住宅を活用した救出訓練、ヘリコプター使用による救助訓練、都県境管轄署との災害警備合同訓練、隣接署合同による災害警備訓練を始め、介護施設・養護学校等での避難訓練など、関係機関との合同訓練を実施しました。</p> <p>○ 災害に関する広報啓発活動の推進状況</p> <p>県民に対し、市民祭りなどのイベント会場における広報啓発活動や学校等における防災講話を実施しました。また、東日本大震災を風化させないための広報資料「あれから5年～あのときを忘れない～」を活用した広報啓発活動を実施しました。</p>
実績（成果）指標	<p>○ 関係機関との合同訓練の回数 349回（前年比－42回）</p> <p>○ 災害に関する広報啓発活動の回数 304回（前年比－50回）</p>
参 考 指 標	<p>○ 災害に伴う人的被害の発生状況</p> <p>・平成29年中における自然災害（台風、大雨、強風、地震）</p>

	<p>の発生状況については、18件で負傷者数42人（内訳重傷者4人、軽傷者38人）でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年における事故災害（工場火災、有害物質漏洩等）の発生については、33件で死傷者9人（内訳死者2人、重傷者2人、軽傷者5人）でした。
効 果	<p>実践的な災害警備訓練や各種教養等により、危機管理意識が醸成され、円滑な災害警備活動等を推進することができました。</p>
今 後 の 課 題 及 び 方 針	<p>東日本大震災後、千葉県警察災害警備計画及び千葉県警察業務継続計画を策定し、発生時における体制の確立、的確な対応要領等の構築を図りました。</p> <p>今後発生が懸念される南海トラフ地震、首都直下地震等の大規模災害に備え、実情に即した計画の見直しを行うとともに、官民一体となった各種訓練を反復実施するなど、災害発生時には、県警の総力を発揮し、迅速・的確に対処できるよう官民一体となった災害警備対策を引き続き推進していきます。</p>
施 策 主 管 課 政 策 評 価 担 当 課	<p>警備部警備課 警備部公安第一課</p>